

白 議 第 8 号

令和7年4月10日

白井市長 笠井 喜久雄 様

白井市議会議員 岩田 典之



議会活性化特別委員会からの報告に基づく白井市議会からの要望について

令和7年3月24日に行われた市議会定例会において議会活性化特別委員会より、別添のとおり報告書が提出されました。

市議会として、A I 議事録及び本会議におけるライブ字幕、録画字幕の導入は、今後重要な取り組みであることから、下記のとおり要望いたします。

つきましては、お忙しいところ恐れ入りますが、下記の要望事項にご回答いただきますようお願い申し上げます。

記

1 要望事項

- ・ A I 議事録の導入についての実現可否及びそれに対する課題
- ・ 本会議におけるライブ字幕、録画字幕の導入についての実現可否及びそれに対する課題

2 回答期限

令和7年5月15日（木）

担当

議会事務局

会 内線 3911

白 議 活 第 9 号
令和7年3月24日

白井市議会議長 岩田 典之 様

議会活性化特別委員会
委員長 長谷川 則夫



議会活性化特別委員会報告書について

このことについて、白井市議会会議規則第110条の規定により別紙
のとおり報告します。

議会活性化特別委員会報告書

議会活性化特別委員会は、付託された議会活性化に係る提案事項について審議することを目的に、令和5年第3回市議会定例会において、令和7年3月31日を期限とし、議長を除く17名の委員で構成・設置された。

検討事項として提案されたものは、「議事録のICT化」、「音声入力による議事録作成」、「議事録作成の迅速化」、「YouTube録画公開」、「議会中継及び録画配信の見直し」、「本会議の録画映像に字幕を付ける」、「本会議場に360度カメラの導入」、「タブレットの使い方について検証する」の8項目で、設置から全11回、委員会を開催して協議を行った。

令和5年第1回会議では正副委員長を決定し、第2回、第3回、令和6年第1回から第3回までの会議では、提案者からの説明をもとに当委員会で検討を進めいくこととする提案項目について協議を行った。

協議の結果、提案項目の中で検討を進めていくこととなった項目は、議事録のICT化、音声入力による議事録作成、議事録作成の迅速化を一括りとした「AI議事録の導入」、「本会議の録画映像に字幕を付ける」及び「タブレットの使い方について検証する」の3項目となった。

令和6年第3回の会議において検討方法について協議され、「AI議事録の導入」と「本会議の録画映像に字幕を付ける」の2つについては、それぞれプロジェクトチームを設置して調査を進めることとし、「タブレットの使い方について検証する」については、委員長、副委員長において全議員に対するアンケートを実施することとした。

第4回会議では、プロジェクトチームのメンバーの決定及び中間報告の進め方を協議し、中間報告について報告回数は定めず、報告は2つのチーム同日に行うこととした。

報告までの間、各プロジェクトチームにおいては、調査研究や情報収集として、AI議事録導入議会へのアンケート、システム事業者によるオンラインセミナーの聴講、ライブ字幕導入議会への視察、聴覚障がい者団体へのヒアリング、事業者への見積もり徴取等を行った。

第5回会議では、各プロジェクトチームからの中間報告及び質疑を行い、「本会議の録画映像に字幕を付ける」検討項目に対しプロジェクトチーム

からライブ映像に字幕を付けることも含め調査範囲を広げたい旨の要望があり、会議において承認された。

第6回会議では、まず各プロジェクトチームからの最終報告及び質疑を行い、「A I 議事録の導入」、「本会議のライブ映像に字幕を付ける」、「本会議の録画映像に字幕を付ける」ことについて次回会議にて結論を出すこととした。

次に「タブレットの使い方について検証する」ためのアンケート結果を報告し、その中でも意見の多かった現在W i - F i 接続のみとしているインターネット接続についてS I M利用の開放及びソフトウェア・アプリの充実について次回会議で検討することとした。

令和7年第1回会議では、「A I 議事録の導入」、「本会議のライブ映像に字幕を付ける」、「本会議の録画映像に字幕を付ける」のそれぞれについて協議がされ、「A I 議事録の導入」については、白井市議会として導入の意思を表明することにまとめ、資料を付して執行部へ提出するとともに、導入方法や導入に係る課題については、今後議会にて検討していくこととした。

「本会議のライブ映像に字幕を付ける」及び「本会議の録画映像に字幕を付ける」については、ライブ映像、録画映像ともに字幕を付ける意思を表明することにまとまった。

「タブレットの使い方について検証する」ためのアンケート結果に基づくS I M利用の開放及びソフトウェア・アプリの充実については、技術的な確認事項を調査の上、次回会議で改めて協議することとした。

第2回会議では、S I M利用の開放及びソフトウェア・アプリの充実についての調査結果を踏まえ、当委員会では結論に至らなかったタブレットの使い方に係る課題について、本報告書とは別に議長へ申し送り事項として提出することが承認された。

(添付資料)

- ・議会活性化特別委員会会議経過
- ・各プロジェクトチームにおいて、最終報告に使用された資料
- ・「タブレットの使い方について検証する」ためのアンケート結果

議会活性化特別委員会の経過

日付	会議名	主な会議内容	決定事項
令和5年 10月11日	第1回 特別委員会	・委員長・副委員長を決定した。	委員長 長谷川則夫委員 副委員長 小田川敦子委員
同 11月14日	第2回 特別委員会	・協議事項について提案者から説明した。 ・協議事項について「引き続き検討する必要性」の有無を協議した。	・項番「1-1」から「2-2」について協議した。 次回以降の会議で「引き続き検討する必要性」の有無について結論を出す。
同 12月11日	第3回 特別委員会	・協議事項について「引き続き検討する必要性」の有無を協議した。	・項番「2-3」から「4」については次回以降への持ち越しとなった。 ・議会中継をYouTubeで行うこと（項番「2-1」、「2-2」）は「引き続き検討しない」ことに決定した。
令和6年 4月18日	第1回 特別委員会	・AI議事録の導入（項番「1-1」から「1-3」）について「引き続き検討する必要性」の有無を協議した。	・AI議事録の導入は「引き続き検討を進めていく」ことに決定した。
同 6月24日	第2回 特別委員会	・「本会議の録画映像に字幕を付ける（項番「2-3」）」及び「本会議場に360度カメラの導入（項番「3」）」について「引き続き検討する必要性」の有無を協議した。	・「本会議の録画映像に字幕を付ける」は「引き続き検討を進めていく」ことに決定した。 ・「本会議場に360度カメラの導入」は次回に持ち越しとなった。
同 7月12日	第3回 特別委員会	・「本会議場に360度カメラの導入」及び「タブレットの使い方について検証する（項番4）」について「引き続き検討する必要性」の有無を協議した。 ・「引き続き検討を進めていく」ことに決定した項番（「1-1」から「1-3」、「2-3」、「4」）について、今後の検討方法を協議した。	・「本会議場に360度カメラの導入」は「引き続き検討しない」ことに決定した。 ・「タブレットの使い方について検証する」は「引き続き検討する」ことに決定し、正副委員長より使用状況のアンケートを実施することに決定した。 ・残り二つの「引き続き検討を進めていく」ことに決定した項番は、各5人以上の2つのプロジェクトチームを結成して調査を進める事に決定した。また、本日手を挙げた委員をメンバーとして決定し、残りメンバーは期限を決めて後日募ることに決定した。

議会活性化特別委員会の経過

同 7月25日	第4回 特別委員会	・プロジェクトチームのメンバー、中間報告の進め方について協議した。	・プロジェクトチームのメンバーを決定した。また、中間報告は2つのチームが同日に行うこと、報告回数については特に定めないことを決定した。
同 10月9日	第5回 特別委員会	・各プロジェクトチームからの中間報告及び質疑を行った。 ・「タブレットの使い方について検証する」のアンケートの集計結果を報告した。	・「本会議の録画映像に字幕を付ける」プロジェクトチームについて、ライブ字幕についても調査範囲を広げることを決定した。
同 12月9日	第6回 特別委員会	・各プロジェクトチームからの最終報告及び質疑を行った。 ・「タブレットの使い方について検証する」のアンケートの集計結果を報告した。	（・次回の会議までに検討中の各項目について各会派で結論を出し、扱いを決定する。） （・アンケートで意見の多かった「SIM利用の開放」、「ソフトウェアの充実」の二点について次回諮る）
令和7年 2月25日	第1回 特別委員会	・「A I 議事録の導入」「ライブ字幕及び録画字幕」について協議し、結論を出した。 ・「タブレットの使い方について検証する」のアンケートの集計結果をもとに協議した。	・「A I 議事録の導入」「ライブ字幕及び録画字幕」の導入に対して議会として意思表示をする。その際に、資料を整理して執行部に提出することを決定した。 ・「SIM利用の開放」「ソフトウェアの充実」については、他に確認が必要な事項があるため次回会議で再度取り扱う。
令和7年 3月13日	第2回 特別委員会	・「SIM利用の開放」「ソフトウェアの充実」についての確認が必要であった事項を報告した。 ・委員会報告書及び議長への申し送り事項について協議した。	・「SIM利用の開放」「ソフトウェアの充実」を含め、タブレットの使い方の検証についての申し送り事項を決定した。 ・委員会報告書（案）に対し、プロジェクトチームが実施した聴覚障がい者団体へのヒアリングについて加筆し、経過に本日の会議結果を加えて作成したものを提出することが承認された。 ・タブレットの使い方の検証についての申し送り文書（案）に対し、文言を整理して作成したものを提出することが承認された。

参考：特別委員会等を組織して検討する事項の項番

項番	検討内容
1-1、1-2、1-3	・議事録のICT化、音声入力による議事録作成、議事録作成の迅速化（AI議事録の導入）
2-1、2-2	・白井市議会：youtube録画公開、議会中継及び録画配信の見直し（議会中継をYouTubeで行う）
2-3	・本会議の録画映像に字幕を付ける
3	・本会議場に360度カメラの導入
4	・タブレットの使い方について検証する

特別委員会等を組織して検討する事項

項番	提出者	題名	要 旨	理 由	備 考
1-1	New Waveしろい	・議事録のICT化	・現在、録音→文字起こしには、多大な時間を要するため、AIによる議事録作成であれば、大協、即日中に完成する。その効果としては、④議会だよりに最終日の議案・討論なども掲載できるようになる。 ⑤議会事務局の業務効率化が図れる。 といったメリットがあげられる。	・議員数が18名となり、個々の議員活動に加えて、チーム議会として【議会の見える化】・【市民とのコミュニケーション】 が非常に重要と考えるため。	2024.4.18 検討を進めていくことに決定 2024.7.12 プロジェクトチームにて調査 研究を進めていくことに決定 2025.2.25 AI議事録を導入する意思表明 をすることに決定
			・AI議事録作成に至るプロセスでは数年間の議事録を読み込ませ、白井市独自の「辞書」として認知させ、誤語を最小限に抑えるための準備が必要となるが、運営面のコストについては、先進自治体の実績では、文字起こしの場合とほぼ同等であることを確認している。 (但し、日進月歩の状況であるため、あらためて研究の余地はあると思われる。)		
			・音声入力による議事録作成 ・議事録作成の迅速化	・事務局の負担軽減と、速報版での議事録公開を進める ・これにより議会だより作成や内容の確認が早くできるようになり委託料もへるから	
1-2	市民の声		・発言と同時に機械で作成する ・誤字や専門用語のみ人が直す		
1-3	日本共産党				
2-1	つながろう、白井！	・白井市議会：youtube録画公開	・白井市議会を公開し、若者・子育て世代に対する議会活動への理解関心を高める。	・近年の白井市議会議員選挙への投票率低下は市民の関心が低下している証左である。 ・有権者が議会活動への関心を高めるためには活動内容の公開が不可欠。 ・Youtube公開により若者世代への興味増進に繋げたい。 ・市民は傍聴する時間の確保が厳しい中、記録媒体による情報低提供が不可欠である。 ・全員議員協議会での発言は各議員の考え方が分かりやすい場になっている。	2023.12.11 引き続き検討しないことに決定
2-2	市民の声	・議会中継及び録画配信の見直し	・配信についてはYouTubeを活用してみる ・その際字幕スーパーも入るようにする	・費用の節減を図りながら、議会の透明性を高めるため ・公開されている会議はすべて中継及び録画配信できるようにする	2023.12.11 引き続き検討しないことに決定 2024.6.24 検討を進めていくことに決定 2024.7.12 プロジェクトチームにて調査 研究を進めていくことに決定 2024.10.9 ライブ字幕についても調査範囲を広げることが承認された 2025.2.25 ライブ字幕、録画字幕ともに導入する意思表明をすること に決定
2-3	日本共産党	・本会議の録画映像に字幕を付ける	・難聴者やろうの方にも理解しやすい動画配信する。	・バリアフリーを進めるため	
3	市民の声	・本会議場に360度カメラの導入	・本会議の議会中継は、画面切り替えにより執行部と質問者しか映せないの、全体を見れるようにする	・本会議場全体の様子を議場内にいる者のみではなく、市民にも共有できるようにする。	2024.7.12 引き続き検討しないことに決定
4	市民の声	・タブレットの使い方について検証する	・S I Mの利用を解禁する ・アプリについて ・議会の連絡ツールとしてL I N E W O R K Sの導入を検討する	・貸与のタブレットは議案を見るだけで汎用性が低いため。	2024.7.12 委員長、副委員長よりタブレットの使用状況等についてアンケートを実施することに決定 2025.3.13 アンケート結果をもとに今後議会として検討していくべき事項を確認した

見積価格の比較

〔 本日の資料:①見積価格の比較(本資料) ②業者よりの見積書(2業者・7通)
③現況の議事録作成にかかる費用 〕

★**ProVoXT**:自治体から企業、幅広い業種で活用されている ワンストップでのクラウド型音声ファイル文字起こし
by AmiVice サービス。音声ファイルをアップロードするだけで議事録作成・共有・編集ができる。

業者	価格 (内、消費税)	ProVoXT	備考	★初期費用 導入時のみ
大和 1	605,000 円 (55,000 円)	月利用 <u>上限 20 時間</u> 300,000 円 サービス契約 (25,000 円／月)	・インターネット・ LGWAN で利用可 ・市で単語登録可能	<u>250,000 円</u>
大和 2	750,200 円 (68,200 円)	月利用 <u>上限 30 時間</u> 432,000 円 サービス契約 (36,000 円／月)	・インターネット・ LGWAN で利用可 ・市で単語登録可能	<u>250,000 円</u>
大和 3	935,000 円 (85,000 円)	月利用 <u>上限 50 時間</u> 600,000 円 サービス契約 (50,000 円／月)	・インターネット・ LGWAN で利用可 ・市で単語登録可能	<u>250,000 円</u>
つくば 1	1,584,000 円 (144,000 円)	月利用 <u>100 時間</u> 960,000 円 (80,000 円／月)		導入費用不要

★エンジンチューニング：議事録（Word・Excel）を用いて、辞書機能をカスタマイズする

by AmiVice

P.2

業者	価格（内、消費税）	エンジンチューニング	備考
大和 5	770,000 円 (70,000 円)	700,000 円 (年間・一式)	年に一度、議事録を用いてチューニング

★ScribeAssist：オフラインで使える。録音からテキスト化・編集・要約までをワンストップで実現する、議事録作成の自動化アプリケーション。議事録作成時間を大幅に短縮。

by AmiVice

業者	価格 （内、消費税）	ScribeAssist	備 考	★ <u>初期費用</u> 導入時のみ
大和 4	1,067,000 円 (97,000 円)	月利用 <u>上限なし</u> 720,000 円 サービス契約 (60,000 円／月)	・1ライセンス付き ・R7.4 迄に GPT 要約機能リリース予定 ・インターネット不要 ・市で単語登録可能	<u>250,000 円</u>
つくば 2	1,320,000 円 (120,000 円)	基本料(50,000 円/月) 600,000 円 ライセンス料 (10,000 円/月) 120,000 円 専用音声認識辞書利用 (40,000 円/月) 480,000 円	・認証方式…ノードロック、USB キー、フローティングライセンス(いずれか1つ) ・1ライセンス追加 10,000 円	導入費用不要

現行会議録作成業務委託について

【作業】

- 1 録音データを委託事業者へ送付
 - ・出席者、時間等の資料を添えて録音データを送付する
(可能な限り当日中に送付)
- 2 委託事業者より初校納品
 - ・通常14日間で納品される
 - ・3月議会の最終日のみ7日間で納品される
 - ・会期中の常任、特別委員会については3日間で納品される
 - ・文字起こしのみでなく、発言者、改行、不要文字の削除等、会議録の体裁で納品される
- 3 初校納品後、出席者へ校正依頼
 - ・2週間から20日間程度で回答をいただく
(委員長報告に用いる質疑回答は、執行部へ別途早急に回答依頼)
- 4 修正、決裁
 - ・出席者からの校正指示を反映し、事務局内で決裁する
(3日～1週間程度)
- 5 完成、署名(次期定例会までに)
 - ・完成した会議録を21部印刷(本文約450ページ、資料約450ページ)
 - ・原本に署名議員又は委員長に署名をいただく
 - ・会議録検索システムへのデータ提出

【費用】

令和6年度契約単価

- | | | |
|--------|--------|-------------|
| 14日納品: | 1時間あたり | 15,000円(税抜) |
| 7日納品: | 〃 | 19,500円(税抜) |
| 3日納品: | 〃 | 27,000円(税抜) |

令和6年度予算積算時間

- | | | |
|--------|--------------|--------------|
| 定例会: | 5時間×6日×年4回 | (14日納品) |
| 臨時会: | 5時間×1日×年4回 | (14日納品) |
| 委員会: | 年20時間 | (14日納品) |
| | 年68時間(※3日納品) | ※委員長報告のある委員会 |
| 議運・全協: | 2時間×年40回 | (14日納品) |

●予算総額: 5,980,000円

字幕プロジェクトチーム 最終報告

リーダー 久保田江美
石田里美・小田川敦子・柴田圭子・徳本光香

2024年12月9日
白井市 議会活性化特別委員会

調査結果まとめ① どの字幕表示がよいか

➤ 各議会で採用されている字幕の表示形式を調査

- ・ 映像の横に議事録をそのまま表示する形式
→ 聴覚障がいの方には、議事録のどの部分を話しているかわからない
- ・ 映像画面の下に字幕を表示
→ 発言内容と字幕内容が一致するのでわかりやすい
- ・ UＤトークの字幕を表示（船橋市議会を訪問）

※詳細は2024/10/9 資料参照

➤ 市内の聴覚障がい者団体の方々から意見聴取

- ・ 「議会を傍聴できること自体を知らなかった」との意見あり
- ・ 映像だけでは発言内容がわからないため
「**ライブ映像**」と「**録画映像**」両方の字幕を要望

②

調査結果まとめ② 実際の字幕導入状況

➤ 「録画映像字幕」と「ライブ映像字幕」導入状況

※10/9の当特別委員会で「ライブ映像字幕」の調査の追加を承認

・10/9の中間報告では

“「録画映像字幕」よりも「ライブ映像字幕」導入議会の方が多い”
という結果を報告しましたが、[実際にはちがうことが発覚](#)

※説明 プロジェクトチームでは、今の議事録作成委託会社「大和速記情報センター」が映像に「テロップ(映像上の文字表示)」を付けている議会を集計してきました。

→しかし、大和速記情報センターの「テロップ」の定義は、「発言内容すべての字幕」ではなく、現在、白井市議会の映像に付けているのと同じ「人の名前など部分的な文字の表示」のみを指すことがわかったため、「字幕導入議会」の数から「テロップ導入議会」を外しました。

調査結果まとめ③「録画映像字幕」導入議会

4 2 議会 / 3 3 6 議会 ※大和速記情報センター情報

市議会 (23)	町村議会 (14)	県議会 (3)	区議会 (2)
①那須塩原市 ②稻城市 ③秦野市 ④桜井市 ⑤宇都宮市 ⑥碧南市 ⑦野洲市 ⑧伊勢原市 ⑨桑名市 ⑩焼津市 ⑪葛城市 ⑫能美市 ⑬伊勢崎市 ⑭北名古屋市 ⑮青森市 ⑯大和高田市 ⑰茅ヶ崎市 ⑱白石市 ⑲志布志市 ⑳大牟田市 ㉑神崎市 ㉒玉名市 ㉓宮若市	①愛荘町 ②仁淀川町 ③七宗町 ④色麻町 ⑤坂祝町 ⑥宇美町 ⑦舟橋村 ⑧太子町 ⑨須恵町 ⑩久山町 ⑪安芸太田町 ⑫加美町 ⑬篠栗町 ⑭糸田町	①群馬県 ②宮城県 ③岩手県	①文京区 ②品川区

調査結果まとめ④「ライブ映像字幕」導入議会

1 1 議会 / 3 3 6 議会

※大和速記情報センター情報

市議会(7)		県議会(2)	区議会(1)	町村議会(1)
①鳥取市 ②葛城市 ③三鷹市 ④川崎市 ⑤日野市 ⑥南足柄市 ⑦宮若市		①鹿児島県 ②宮城県	①文京区	①長泉町

▶ ライブ・録画字幕 両方を導入 4 議会

- ①宮城県 ②文京区 ③葛城市 ④宮若市

★は試行中
※UDトークHP情報
(2024年10月時点)

▶ UDトーク (ライブ字幕) 導入 1 3 議会

- ①東京都議会 ②京都府★ ③長崎県 ④船橋市 ⑤太田市★ ⑥水戸市
⑦川崎市議会、⑧鯖江市 ⑨犬山市 ⑩堺市 ⑪和泉市 ⑫日向市 ⑬浦添市

考えられる字幕パターン

※詳細は別紙フローチャートを参照

◆ ライブ映像字幕なし、**録画映像字幕あり** →①

※正式な議事録完成後に、録画映像にのみ字幕を付けます

◆ **ライブ映像字幕あり**

・ UDトークの字幕

・ 画面下部の字幕

録画映像字幕なし →②

録画映像字幕あり →③

録画映像字幕なし →④

録画映像字幕あり →⑤

◆ ④ **ライブ映像字幕**を公開し続ける（2年目以降最も安い） →参考⑥

※字幕付けの作業をする事務局職員の配置はいらない見込みです

⑥

ライブ映像字幕の視聴イメージ パターン②UDトーク

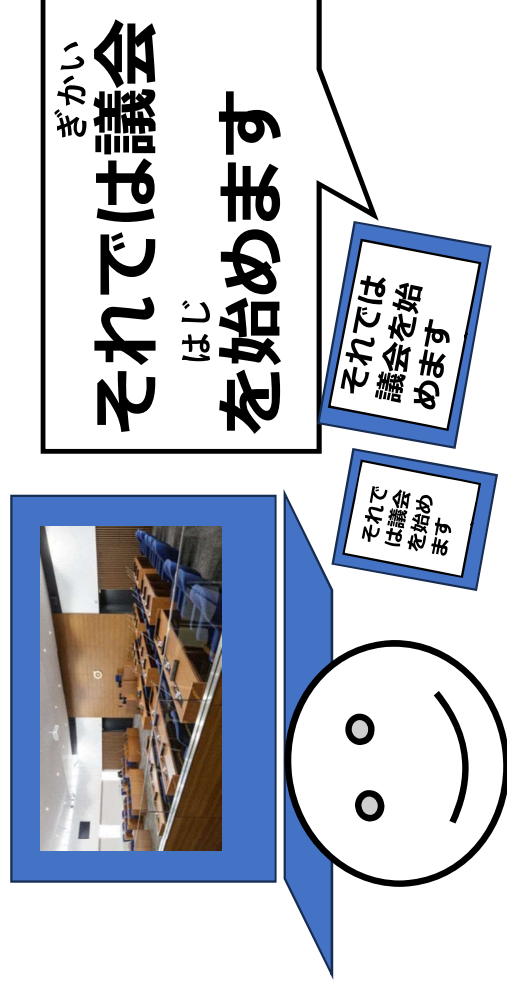
※UDトークは、AmiVoice（アミボイス）を採用（声を文字化する音声認識率90%以上）
※ふりがなが付きも可能なため、知的障がいの方・子どもなど幅広い人が読める

➤ 傍聴席



議場にて、スマートフォンや
タブレットで字幕を見る

➤ 議場以外で視聴

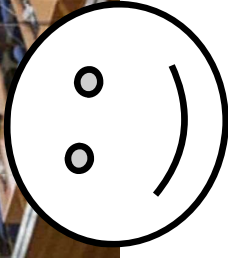
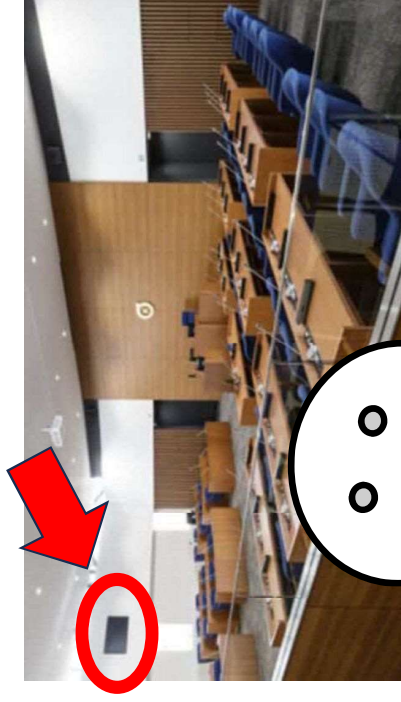


自宅のパソコン等で議会のライブ映像を見ながら
スマートフォンやタブレットで字幕を見る

ライブ映像字幕の視聴イメージ

パターン④画面下部の字幕

➤ 傍聴席



➤ 議場以外で視聴



議場の壁にある画面内に字幕が付く

※小さくて読みづらい可能性あり

自宅のパソコンなどで

字幕付きの映像を見る

※金額は全て税込み

本会議の映像字幕

ライブ映像字幕 あり

ライブ映像字幕 なし

〈議場や自宅等で〉
スマートフォンなど機器の画面で字幕を見る

議場の画面や配信映像の下に字幕が入る

UDトーク字幕

画面下部の字幕



※音声認識機能はアミボイス
※漢字に仮名をふれる

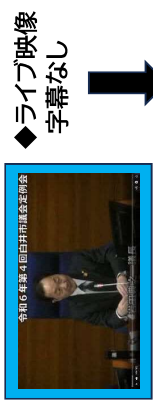
※契約中の(株)大和速記が行う場合



◆ライブ映像字幕 なし ◆録画映像字幕 あり

★正式な議事録完成後に
字幕を付ける費用
1時間5千500円
×約100時間(年) =
録画字幕 年間約55万円

①



◆ライブ映像
字幕なし



◆録画映像
正式な議事録
が完成したあと
に字幕がつく

◆ライブ映像字幕 UDトーク

◆画面下部の 録画映像字幕

初年度



初期費用5万5千円 +
年間費用35万6千400円 =
ライブ字幕のみ ② 41万1千400円

★議事録完成後に
字幕を付ける費用
= 約55万円

③ **ライブ字幕 + 録画字幕 計96万1千400円**

2年目以降

② **ライブ字幕のみ 年間35万6千400円**

★議事録完成後に
字幕を付ける費用
= 年約55万円

③ **ライブ字幕 + 録画字幕 計90万6千400円**

※UDトーク
機材の更新の必要はなし

◆ライブ映像字幕

◆画面下部の 録画映像字幕

初年度



(※機械一式・工事費)199万6千500円 +
(配信初期費用・ライブ字幕付き映像配信料)
211万8千円 =
ライブ字幕のみ ④ 410万8千500円

★議事録完成後に
字幕を付ける費用
= 約55万円

⑤ **ライブ字幕 + 録画字幕 計465万8千500円**

2年目以降

(音声認識ソフトサポート費)
6万6千円
+ (ライブ字幕付き映像配信料)
145万2千円 =

④ **ライブ字幕のみ 年間151万8千円**

★議事録完成後に
字幕を付ける費用
= 年約55万円

⑤ **ライブ字幕 + 録画字幕 計206万8千円**

※機材の更新費用が必要

参考⑥

④のライブ映像字幕を公開し続ける

※ライブ用の字幕は100%正確ではないという
断り書きを載せ、完成した議事録を見える方法
も案内する

初期費用 (※機械一式・工事費)
199万6千500円(※)
2年目以降 年間6万6千円

設問1 タブレットの利用状況について		
1-1 操作全般	1 全く苦にならない	7
	2 あまり苦にならない	4
	3 ときどき操作で困ることがあるが使えている	4
	4 操作が難しくあまり使えてない	0
	5 会議資料の閲覧以外は使えない	2
1-2 タブレット利用の場面 (複数回答)	1 自宅	16
	2 外出先(出張以外で)	5
	3 市民との懇談など	3
	4 その他	7
1-3 普段使う資料のうち タブレットの活用程度	1 8割以上	6
	2 5割以上	8
	3 3割以上	2
	4 ほぼ紙のみ	0
設問2 タブレットを導入してからの状況		
2-1 電子メールの 使用について	1 とても便利	7
	2 便利だが操作が面倒	2
	3 あまり便利だと思わない	8
	(3の理由)	別紙
2-2 電子メールの使用頻度	1 よく使う	6
	2 時々使う	2
	3 あまり使わない	9
	(3の理由)	別紙
2-3 電子メールを使う相手 (複数回答)	1 事務局	13
	2 同僚議員	7
	3 市民や団体	4
	4 友人など	4
2-4 『議案』や 『会議資料』の閲覧	1 とても便利	13
	2 便利だが操作が面倒	4
	3 あまり便利だと思わない	0
2-5 SideBooksの中にある 「クラウド本棚」の 利用頻度	1 よく使う	9
	2 時々使う	0
	3 あまり使わない	7
2-6 クラウド本棚の 『電子図書室』の閲覧	1 とても便利	5
	2 便利だが操作が面倒	1
	3 あまり便利だと思わない	10
	(3の理由)	別紙

2-7 インターネットでの 情報検索の利用頻度	1 よく使う	7
	2 時々使う	4
	3 あまり使わない	5
	(3の理由)	別紙
2-8 写真撮影の利用頻度	1 よく使う	1
	2 時々使う	2
	3 あまり使わない	13
	(3の理由)	別紙
設問3 資料の電子化について		
3-1 『クラウド本棚』について	1 便利で利用しやすい	9
	2 便利だが改善すべき点がある	2
	3 あまり便利だと思わない	3
	(改善してほしい点)	別紙
3-2 今後も資料の電子化・ ペーパーレス化を 進めるべきか	1 完全ペーパーレス化を目指すべき	2
	2 資料を選別しつつ積極的に進めるべき	9
	3 今以上は進めなくても良い	5
	(理由)	別紙
設問4 本会議・委員会等での活用		
4-1 会議前日までに 電子資料を閲覧したか	1 閲覧して会議に臨んでいる	17
	2 閲覧していない	0
4-2 本会議・委員会等で使って いて困ったことがあるか	1 困ったことがある	2
	2 時々困ったことがある	8
	3 困ったことはない	7
	具体的な困ったこと	別紙
4-3 オンライン会議の参加に タブレットを使用する 可能性について	1 可能性はある	12
	2 可能性はない	5
	理由	別紙
設問5 タブレットの更新について		
5-1 タブレットの 費用負担について	1 市（貸与）	14
	2 個人（自己負担）	1
	3 案分負担	2
	4 その他	0
	(4の内容)	別紙
5-2 更新時期について	1 改選ごと（4年）	6
	2 改選ごと（8年）	2
	3 わからない	5
	4 その他	4
	(4の内容)	別紙

設問6 今後の取り組みについて		
6-1 今後ＩＣＴを活用した 議会活動を進めていく ために、必要だと感じる ことを3つ以内で選んで ください	1 SIMカードを使い、Wi-Fi環境以外でもインターネット通信を可能にする	10
	2 議場や会議室内の機器（プロジェクタ、スクリーン）の活用	4
	3 タブレット以外の機器の整備	1
	4 議員活動に役立つソフトウェア（アプリ）の充実	8
	5 操作や活用の支援体制の充実	4
	6 操作や活用の研修の充実	4
	7 SNSの一層の充実	2
	8 タブレットの活用をやめる	0
	9 その他	5
	（3 を選択した場合の具体的な機器例）	別紙
	（4 を選択した場合の具体的なアプリ名）	別紙
	（5 を選択した場合の具体的な例）	別紙
	（9 を選択した場合の具体的な内容）	別紙
6-2	（タブレットの活用、ＩＣＴ推進・電子化全般への意見）	別紙
6-3	（議会の連絡ツール（ラインワークス）を導入することへの意見）	別紙

2-1 電子メールの 使用について	あまり便利だと思わない理由 ・スマホでメールを見ているため ・機能が限られている ・議案を探すのでいっぱい ・受信にしか使わない ・パソコンとスマートフォンでGmailを主に使っているから、同じ内容がタブレットに来てもあまり開かないため ・自身が利用するアドレスによるメールはパソコン、スマホが便利なので ・全く使っていない
2-2 電子メールの使用頻度	あまり使わない理由 ・スマホでメールを見ているため ・受信メールはよく見ているが、タブレットを使って送信しない ・全然使わない、自分のパソコンメールにも送れない ・タブレットでは、議会関係メールの着信を確認する程度 ・貸与されているiPadを使っている通信は議会内限定と認識している そのため公開していないし、登録アドレスが限定される皆さんに知らせてもいない、通常のやり取りは、自分のスマホやパソコンを使うほうが受信も送信も便利 ・上の答えと同じで、他の機器でメールを読んでいるからです ・必要としていない
2-6 クラウド本棚の 『電子図書室』の閲覧	あまり便利だと思わない理由 ・使用しない ・使っていないから ・知らなかったため ・電子図書を見ようと思ったことがないので便利さがわからない ・使ったことがないので答えられない、クラウド本棚や電子図書室は、研修のとき、積極的にレクチャーを受けていないのではないかと？クラウド本棚自体使って良いという認識はなかった ・この問いを見るまで電子図書室を知りませんでした ・クラウド本棚を知らず、使ったことがない ・全く使っていない、存在を知らなかった

2-7 インターネットでの 情報検索の利用頻度	あまり使わないいい理由 • 家にパソコンがあるので • 必要性がない • タブレットで使ったことがない • スマホ・パソコンを主に利用 • これもパソコンかスマートフォンで検索しているため、ほぼ全く使っていません 使い慣れていないからか、なんとなく画面が見づらいとも感じます 聞いたサイトの情報をWordに貼るなどの作業もタブレットではできないため、パソコンで検索して作業するほうが やりやすいです • PCやスマホを利用している
2-8 写真撮影の利用頻度	あまり使わないいい理由 • スマホのカメラを使うため • 必要性がない • 持ち運んで破損したら大変なので大切にしておく • スマホ・パソコンを主に利用 • iPadは重い、スマホの方が取り出しやすいし、撮った写真の処理も手軽 • スマートフォンで撮影してLINEを通してパソコンに送ってから写真を保存、活用するなどしているため、 そもそもタブレットを使う必要がなく、使用は皆無です 充電してもすぐ切れるのでいざというとき使えるかわからず、持ち歩かないため、撮影しないです また、タブレットで撮った写真の保存先の見方、取り出し方がわからないので使えません • 写真は自身のスマートフォンを使用 • タブレットを持ち運ぶことがない、自宅と市役所との往復のみ • 室外に持ち出していない
3-1 『クラウド本棚』について	改善してほしい点 • そもそも知らなかった • クラウド本棚と自分のニーズがマッチしていないので価値がわからない • 使ってよいという認識がなかったので、まったく使っていない • iPadの「元々の資料に白紙ページを挿入する機能」を愛用していたため、その後に導入されたSideBooksでは メモはできるけど白紙を足せないのが不便です 私は、わざわざ、メモする可能性のあるすべての資料をiPad本体に送り、自分で作ったファイルに送り直して、 白紙を足しながらメモしているのが、SideBooksの資料は、メモ無しの原稿という位置づけで、見返すことも あまりないです ただ、もともと整理されているので助かっています

3-2 今後も資料の電子化・ペーパーレス化を進めるべきか	選択肢の理由 • その他：使えない、使いにくい方がいる場合は、取り残さないように進めていくべきと考える • 詳細を求めるものは紙に起こすので • 紙に慣れているから • 紙の方が見やすい • 予算決算書の現物支給（紙議案）は継続してほしい、以下の資料をSideBooksに載せてほしい（白井市議会関係例規、議会議員提要、先例集、臨時議会運営の概要及び議会関係例規等、政務活動費の取り扱いに関する基準） - 各議員に貸与されている例規集をデジタル化し、現物は図書室に何冊か配架する - 総合計画、帰還計画までは、SideBooks内におさめる • 議案や行政連絡、各会議ごとの資料等、すでにSideBooksに載っており、必要な情報は収められていると思う 紙ベースの方が見やすいものもあるので（決算書、予算書）、現行を基本として、必要に応じて各自紙に打ち出すなど対処すればよいのではないか • A4より大きいサイズはタブレットでは判別しにくい • 基本的には電子資料でよいし、個人的に紙で用意したい物は、最低限の分だけ印刷すればいいので 常任委員会での発言を翌日までに書いて出す書類などは、最近ではメールで受け取り、Wordに書いて出しているの で、紙をなくして、紙でほしい人だけ申し出てもらい、渡してもらうようにしてもよいと思います • 資料によっては、紙で把握しやすいものもある • 検索しやすい
4-2 本会議・委員会等を使っていて困ったことがあるか	具体的な困ったこと • 進行のスピードと検索のスピードがあわない時、特に複数を比較する時 • 書き込みが間に合わない • 資料を読み上げられるが探すのが一苦労。検索も苦手 • タブレット画面がフリーズ⇒事務局のものを借用した • 自分の資料や手書きの記録をタブレットに残すことが難しい（手間がかかりすぎる） • 画面分割したとき、資料が見にくい • 電池を受電し忘れてくると、議場以外の電源のない会場の場合、数時間の会議では電池が足りず、資料の閲覧もメモもできなくなってしまう - 電池の残りが少ないと気づいたら、前もって事務局の方に頼んで長いコンセントを用意してもらわなければならない、申し訳なかったです • 資料の場所がわからず、探すのに時間がかかることがある • 議案と資料閲覧の時間差

4-3 オンライン会議の参加に タブレットを使用する 可能性について	選択肢の理由 •可能性としてはあるが、電池がすぐになくなるので、あまり使いたくない •ほとんど使用しないので、忘れていくかもしれないという懸念有り •資料を見るためにタブレットを開き、PCでオンライン会議に参加する •スマホで対応 •タブレット操作が苦手 •スマホを使用するため •便利、小型、軽量 •ネット環境に接続できない等「使えない状況」があったとしても、参加するためにタブレットの使用を制限する 場面が想像できない •画質が良く、画面の大きさ丁度よく、使い勝手が良い •可能なら使わない理由はなく、使うと思うから 練習は必要だと思います •タブレットの資料を見ながらのオンライン会議では、パソコンで会議に参加しタブレットにメモを書きながらになる パソコンが無い時には、タブレットでオンライン会議に出席する可能性はあると思う •オンライン会議に慣れているため
5-2 更新時期について	その他の内容 •耐用年数を鑑み、様子見て更新するかどうか協議する •更新しなければ利用できないケースが発生したら

今後ICTを活用した議会活動を進めていくために、必要だと感じることを3つ以内で選んでください 6-1	3 を選択した場合の具体的な機器例 ・情報機器といえるかわからないですが、360度カメラや、同時文字起こしツールは必要だと思います 4 を選択した場合の具体的なアプリ名 ・特に特定のアプリはないが活用の自由度を高めて、アプリは議員個人の使い勝手で決めてもらっていいのではないかの方向でルール（ガイドライン）を検討してほしい ・クラウドを利用したWord、Excel ・Word、Excel、PowerPoint ・office 5 を選択した場合の具体的な例 ・使い方がわからない人が自分で調べられる環境づくり ・操作がまだわからない 9 を選択した場合の具体的な内容 ・現状維持で良いと思う ・AIを活用して情報保障・情報提供を充実させる - AI議事録を導入し会議速報版を提供する - 自動音声認識機能を活用して、映像記録に字幕をつける - 自動音声認識機能を活用して、やさしい日本語により議事概要（要約）を紹介する - 多言語機能翻訳（HP等公開された文字情報にも対応） - 議会会議録視覚化システムの導入（取手市議会でも試行中） ・AI議事録の導入、議会だよりだけのためではなく、常任委員会や特別委員会での発言や執行部の説明等を確認するために、極力速やかな議事録（未定稿でよい）を出したほうが良いと考える ・AppleStore利用開放、支払いは本人負担として自己責任によるアプリ導入
6-2 タブレットの活用、ICT推進・電子化全般への意見	・AI議事録の導入 ・富里市議会のような、執行部との資料の連携について検討してほしい ・他市議会を参考に、改めてYouTube導入を検討し、費用をAI議事録導入のために回すなど工夫して議会の効率化と見える化を進めてはどうか ・議員をやめたときに、今までメモした資料を自分のものにできないのではないかと、ということが気になる不安です必要なら印刷するしかないのでしょうか ・タブレットで文書や資料を作れるようにして、一般質問でも使えるようにしたい ・現在はアプリ導入制限があるので外出先で活用する予定はありません

6-3
議会の連絡ツール
(ラインワークス)を導入
することへの意見

- LINEWORKSは便利と聞いたことがあります、今のところ必要性についてよくわかりません
- 今のLINEグループでよい
- 必要なし
- LINEWORKSの導入に賛成です、他自治体の例を参考に、議会の連絡ツール、方法を確立してほしいです
- 一度アプリを入れたことがあるが、結局使わないまま削除した、LINEでよいと思う
- タブレットでなく、スマホにLINEWORKSを導入希望
- タブレットにLINE関連のツールを入れることに大反対です
すでに常任委員会、プロジェクトチーム、議会だより編集委員会、個別の議員さんとのグループがあるので不要です
同じ人や同じグループでのやりとりは、1つのツールのみに絞りたいです
今でも同じ人とメール、ショートメール、LINEでもやりとりしている場合、ややこしく、返事漏れもあり、どのツールで何のことを話したのか探すのも大変で、余計な心労が増え、時間も使います
また、タブレットは電池が長くもたないのも、議場や会派室などコンセントをつなげる場所以外では使っていないため、タブレットは電池が長くもたないのも、議場や会派室などコンセントをつなげる場所以外では使っていないため、常に他の人の発信に気づけるほうがよいLINEがタブレットに入っていると、手間が増えてしまい私は嫌です
また、職場でLINEWORKSを使う必要があってスマートフォンに入れましたが、機器のトラブルでそれまでのやりとりごと消えてしまったこともあり、面倒だという印象もあります
LINEグループがあるので、足すことはしないでしょう。
- 基本的には、自身のスマートフォンで連絡のやり取りはしたいが、議会事務局との情報共有の意味でLINEWORKSを使うことも必要となれば、連絡の内容によって、使い分けができれば良いと考えます
- 使い勝手に疑問があり興味はありません、使うならLINEで充分です
- 掲示板にも疑問があり、使うならGoogle work spaceまで拡張するかどちらかです
- 全議員一斉に連絡するツールがないので、導入するべき